

平成 29 年度

# 「校長経営戦略支援予算配付申請書」

大阪市立木津中学校

校長 竹村 弘文

平成 29 年 4 月

大阪市立木津中学校 平成 29 年度 校長経営戦略支援予算配付申請書(総括)

## 1 学校運営における現状と課題 ※運営に関する計画の 1 学校運営の中期目標欄に記載の現状と課題を再掲

- 生徒は落ち着いた状況で学校生活を送れている。全国学力学習状況調査等の結果からも自尊感情や自己有用感の高まりが確認でき、このことがベースとなり今の学校の状況を作り上げている。厳しい生活状況の中ではあるが、授業規律は確立されており規範意識も高い。このような状況は、普段のきめ細かな生徒指導や学校行事・学年行事等の運営が土台となっており、引き続きこの状況を維持しつつ、取り組みを進めていくことが必要である。
- 課題としては、基礎学力の定着・基本的生活習慣や家庭学習の定着などがあげられ、さらなる授業改善を行い主体的に学ぶ姿勢を育むとともに、しっかりと家庭と連携しつつ現状を改善していく取り組みが必要である。
- 現在本校における生活指導の取り組みについては、生徒や保護者の理解と信頼が得られ非常にスムーズな指導体制が整っている。この現状を維持しつつ、いじめや問題行動が発生しないような未然防止の取り組みを今後も教職員と地域関係諸機関で進めていく必要がある。

## 2 学校運営の中期目標 ※運営に関する計画の 1 学校運営の中期目標欄に記載の中期目標を再掲

**【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】**

- 平成 33 年度の全国学力・学習状況調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる」と答える生徒の割合が現在 9 割以上あり、その割合が維持できるようにする。
- 平成 33 年度の全国学力・学習状況調査における「朝食を食べていますか」の項目において、「食べている」と答える生徒の割合を、8 割に達するよう各家庭への呼びかけを実施する。
- 生徒のアンケートの結果において、「あいさつをきちんとしている」「正しい言葉づかいをするようにしている」の項目への肯定的な回答の割合を、平成 28 度の水準を維持する。
- 近年、外国からの転入生が多く、ほとんどの生徒が日本語日常会話もできない状況である。これらの生徒の進路が保証できるよう、放課後学習や抜き出し指導を行い基礎基本的な学習能力の定着と日本語能力の向上に努める。

**【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】**

- 平成 33 年度の全国学力・学習状況調査における各教科の平均正答率が、全国平均と 10 ポイント以上の開きが発生しないようにする。
- 平成 33 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における、長座体前屈（柔軟性）において全国平均値との開きが大きく、その割合を 5 ポイント以下となるよう取り組む。
- 生徒や保護者アンケートの結果において、「相手の気持ちを考えた発言をするようにしている」や「友だちを大切にし、人への思いやりを持っている」の項目への肯定的な回答を平成 28 年度の水準を維持する。

**【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】**

**全市共通目標（小・中学校）**

- ・平成29年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95パーセント以上にする。
- ・平成29年度実施する校内生徒アンケートにおける「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目において「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と答える生徒の割合を現状の85%以上を維持する。
- ・平成29年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害生徒の数を、前年度同様になしとなるよう生活指導の充実に努める。
- ・平成29年度末の校内調査において、新たに不登校となる生徒の割合を前年度より減少させる。

**学校園の年度目標**

- ・平成29年度の全国学力・学習状況調査における「朝食を食べていますか」の項目において、「食べている」と答える生徒の割合を、6割に達するよう各家庭への呼びかけを実施する。
- ・生徒のアンケートの結果において、「あいさつをきちんとしている」「正しい言葉づかいをするようにしている」の項目への肯定的な回答の割合を、平成28度の水準を維持する。

**【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】**

**全市共通目標（小・中学校）**

- ・平成29年度中学校チャレンジテストにおける標準化得点（1年 81.3点 2年 85.7点）を前年度より向上させる。
- ・平成29年度中学校チャレンジテストにおける正答率4割以下の生徒を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より2ポイント減少させる。
- ・平成29年度中学校チャレンジテストにおける正答率6割以上の生徒を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より2ポイント増加させる。
- ・平成29年度校内生徒アンケートにおける「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分自身の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に答える生徒の割合を、前年度より増加させる。
- ・平成29年度全国体力・運動能力、運動習慣調査において、特に課題である長座体前屈の平均の記録を、前年度より2ポイント向上させる。

**学校園の年度目標**

- ・生徒や保護者アンケートの結果において、「相手の気持ちを考えた発言をするようにしている」や「友だちを大切にし、人への思いやりを持っている」の項目への肯定的な回答を平成28年度の水準を維持する。

**【その他】**

- ・日本語指導が必要な生徒の学力の向上と基礎基本の定着に努め、外国にルーツを持つ生徒の進路を確実に確保する。

4 28年度の自己評価結果の総括 ※28年度の運営に関する計画再掲

・学力の向上に関しては、全国学力・学習状況調査からは国語・数学ともに全国平均を下回る結果となった。無回答率も全国平均より少し高い結果であった。生徒アンケートからは「授業にまじめに取り組んでいる」「授業がわかりやすく楽しい」の項目で、肯定的回答が昨年を上回った。習熟度別少人数授業や補充学習等を通して、基礎学力の定着をはかり今後もさらなる授業改善に努める。「予習・復習等家庭学習をしている」の項目は肯定的回答が昨年を下回り今後の課題である。

・道徳心・社会性の育成に関しては、生徒・保護者アンケートで「あいさつ」「規範意識」に関する肯定的回答が昨年同様非常に高い。授業規律が確立した中で学校生活が送れている。「正しい言葉づかい」「時間を守る」でも肯定的回答が昨年以上であった。生徒の行事への参加意欲も高く達成感・成就感も高い。生徒の自主性を重んじ安心した学校生活が送れるよう今後も取り組みを継続する。

・健康体力の保持増進に関しては、生徒アンケートで「清掃への取り組み」「体や健康についての学習」に対する肯定的回答が昨年同様9割以上である。体育の授業や行事にも生徒は熱心に取り組み、体力の向上・増進に一定の成果が表れている。

5 29年度の自己評価結果の総括 ※運営に関する計画再掲(年度末に記述)

※シートが複数枚になってもさしつかえありません。

6 事業執行管理体制名簿

学校長 ( 竹村弘文 )  
教頭 ( 神山卓也 )  
学校事務職員 ( 松藤尚起 )

申請受付日

指導部で記入 →

/

【様式 2 - 1】

(所属(市費)コード 612302 )

大阪市立木津中学校 平成 29 年度 校長経営戦略支援予算【基本配付】配付申請書

年度目標	達成 状況
<p>【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</p> <p>全市共通目標（小・中学校）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・平成 29 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を 95 パーセント以上にする。</li><li>・平成 29 年度実施する校内生徒アンケートにおける「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目において「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と答える生徒の割合を現状の 85 % 以上を維持する。</li><li>・平成 29 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害生徒の数を、前年度同様になしとなるよう生活指導の充実に努める。</li><li>・平成 29 年度末の校内調査において、新たに不登校となる生徒の割合を前年度より減少させる。</li></ul> <p>学校園の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・平成 29 年度の全国学力・学習状況調査における「朝食を食べていますか」の項目において、「食べている」と答える生徒の割合を、6 割に達するよう各家庭への呼びかけを実施する。</li><li>・生徒のアンケートの結果において、「あいさつをきちんとしている」「正しい言葉づかいをするようにしている」の項目への肯定的な回答の割合を、平成 28 度の水準を維持する。</li></ul> <p>【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標（小・中学校）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・平成 29 年度中学校チャレンジテストにおける標準化得点（1 年 81.3 点 2 年 85.7 点）を前年度より向上させる。</li><li>・平成 29 年度中学校チャレンジテストにおける正答率 4 割以下の生徒を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 2 ポイント減少させる。</li><li>・平成 29 年度中学校チャレンジテストにおける正答率 6 割以上の生徒を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 2 ポイント増加させる。</li><li>・平成 29 年度校内生徒アンケートにおける「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分自身の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に答える生徒の割合を、前年度より増加させる。</li><li>・平成 29 年度全国体力・運動能力、運動習慣調査において、特に課題である長座体前屈の平均の記録を、前年度より 2 ポイント向上させる。</li></ul> <p>学校園の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・生徒や保護者アンケートの結果において、「相手の気持ちを考えた発言をするよ</li></ul>	

うにしている」や「友だちを大切にし、人への思いやりを持っている」の項目への肯定的な回答を平成28年度の水準を維持する。 【その他】 ・日本語指導が必要な生徒の学力の向上と基礎基本の定着に努め、外国にルーツを持つ生徒の進路を確実に確保する。	
---	--

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【1、いじめ・問題行動に対応する制度の活用】 ・1週間を振り返って、教育相談、いじめアンケート調査を実施する。	
指標 ・週1回の1週間を振り返ってのアンケートを実施し、1週間生徒がどのように学校生活を過ごしたのか把握する。教育相談期間を年2回以上実施し、個別での教育相談は生徒の要望があれば、随時実施する。いじめのアンケートを年2回以上実施し、いじめの未然防止、早期発見、早期対応に努める。	
取組内容②【5、学校力UP支援事業】 ・外国にルーツを持つ生徒が普段の授業で困らないよう、日本語指導や基礎基本的な学習能力の向上に努める。	
指標 ・海外のルーツを持つ生徒に対して、週1回以上の放課後学習や授業中の抜出指導などを行い、本人が希望する高校に進学ができるよう進路指導を含め、保護者の理解が得られるよう努める。	
取組内容②【2、道徳心・社会性の育成】 ・キャリア教育の充実として、1年生で地域の産業である皮革についての学習と、地域の太鼓店見学、2年生で職業講話、職場体験学習、3年生では、自らの進路について主体的に考える姿勢を育てられるよう、計画的に進路指導を行う。	
指標 ・進路学習実施後の生徒アンケートで、「有意義であった」「毎日の学習が大切だ」という肯定的な回答を75%以上にする。	
取組内容③【2、道徳心・社会性の育成】 ・各学年とも1・3学期に「にんげん」集中実践取り組み期間を設け、人権教育年間指導計画に沿って人権を尊重する教育を推進し、人権教育の深化・充実に努める。	
指標 ・各学年とも「にんげん」集中実践を終えた後に生徒に対してアンケートを行い、授業に対する満足度や肯定的な評価を指標とする。	
28年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>・学力の向上に関しては、全国学力・学習状況調査からは国語・数学ともに全国平均を下回る結果となった。無回答率も全国平均より少し高い結果であった。生徒アンケートからは「授業にまじめに取り組んでいる」「授業がわかりやすく楽しい」の項目で、肯定的回答が昨年を上回った。習熟度別少人数授業や補充学習等を通して、基礎学力の定着をはかり今後もさらなる授業改善に努める。「予習・復習等家庭学習をしている」の項目は肯定的回答が昨年を下回り今後の課題である。</p> <p>・道徳心・社会性の育成に関しては、生徒・保護者アンケートで「あいさつ」「規範意識」に関する肯定的回答が昨年同様非常に高い。授業規律が確立した中で学校生活が送れている。</p>	

る。「正しい言葉づかい」「時間を守る」でも肯定的回答が昨年以上であった。生徒の行事への参加意欲も高く達成感・成就感も高い。生徒の自主性を重んじ安心した学校生活を送れるよう今後も取り組みを継続する。

・健康体力の保持増進に関しては、生徒アンケートで「清掃への取り組み」「体や健康についての学習」に対する肯定的回答が昨年同様9割以上である。体育の授業や行事にも生徒は熱心に取り組む、体力の向上・増進に一定の成果が表れている。

#### 29年度への改善点

・少人数授業を実施することにより、非常に落ち着いた学習環境の中で生徒達はのびのびと学校生活を送っている。これらは本校独自の学校内のルールや規則を守ろうとする生徒の意識が高いとともに、日頃からきめ細かな指導が実施されているためである。今後は「安全安心ルール」の内容も吟味しながら本校の実態に合わせて取り入れる方法を考えていかなければならない。

・他校においては、「いじめ」「暴力行為」といった問題が発生しているが、教職員によるきめ細かな指導を行うことにより、事故や事件を早期発見・早期対応・早期解決することができている。

・生徒たちは毎年実施する生活アンケートにおいて、「授業は楽しい」「よくわかる」と答える割合が多いが、全国学力・学習状況調査においては大阪府・大阪市平均を下回っており、アンケート調査との開きがあることから学習能力が定着していないことがうかがえる。そのため今後は家庭学習や復習などに力を入れ、学力がしっかりと定着できるよう指導していきたい。

・本年度は特に外国にルーツを持つ生徒の学力について力を入れる。日本語の指導・基礎学力の定着など、放課後学習会・抜き出し指導などの個に応じた指導の充実に向けた取り組みを実施していく。最終的に生徒ひとり一人が持っている進路が実現できるよう成果をあげていく。

・道徳・社会性の育成については、生徒・保護者ともに肯定的な答えが多く、授業規律が確立した中で学校生活が送れている。しかし、まだまだ自分自身の考えや意見を発表する場が少なく、授業の中でアクティブラーニングを活用した取り組みを実施する必要がある。

・現在導入されている大型ディスプレイ・プロジェクターを活用したICT授業の導入を取り入れ実施している教科もあるが、今後ますます増加させていく必要がある。

・体力・運動能力調査においては毎年柔軟性が大阪府・大阪市の平均より大きく開きがあり、今まで体育授業で実施してきた補強運動の内容を見直し、柔軟性を高められるような取り組みを実施していく。

#### 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

#### 次年度（今後）への改善点

◆基本配付申請内容に対応する項目を記載※運営に関する計画再掲

※シートが1枚に収まらないときは、複数枚になってもさしつかえありません。

大阪市立木津中学校 平成 29 年度 校長経営戦略支援予算【基本配付】配付申請書

**学校申請額 650,000 円**

※配付上限額(※円単位)								
学校配当		学級数		学級配当		特別支援学級数		学級配当
300,000	+	6	×	50,000	+	1	×	50,000
配付上限額								
=	650,000							

## ◆学校申請額費目別予算(※円単位)

8-1 報償金	学びサポーター 一経費	9-5 教職員 管内出張旅費	11-1 消耗品費	11-4 印刷製本費	11-6 建物修繕料	12-1 通信運搬費
77,400	418,400					8,820

12-4 手数料	12-7 損害保険料	13 委託料	14-1 使用料	14-2 船車賃借料	18-2 校用器具費	18-3 図書購入費
26,000					119,380	

合計
650,000

## ◆取組内容・予算内訳

## 取組内容①【2、道徳心・社会性の育成】

・キャリア教育の充実として、1年生で地域の産業である皮革についての学習と、地域の太鼓店見学、2年生で職業講話、職場体験学習、3年生では、自らの進路について主体的に考える姿勢を育てられるよう、計画的に進路指導を行う。

## 予算内訳

予算費目	予算内訳明細	申請額(※円単位)
8-1	皮革産業講師謝礼 4,300 円×6H×2 人	51,600
8-1	太鼓転講師謝礼 4,300 円×6H×1 人	25,800

## 取組内容②【2、道徳心・社会性の育成】

・各学年とも1・3学期に「にんげん」集中実践取り組み期間を設け、人権教育年間指導計画に沿って人権を尊重する教育を推進し、人権教育の深化・充実に努める。

## 予算内訳

予算費目	予算内訳明細	申請額(※円単位)
12-1	新今宮一大阪城公園往復運賃(学割) 180×49 人	8,820
12-4	ピアノ調律代	26,000



取組内容③【3、学校図書館の活性化】

図書館機能・蔵書を充実し、読書習慣の定着を図る。ICT 機器を活用し、調べ学習・話し合い活動等の学びを推進する。

予算内訳

予算費目	予算内訳明細	申請額(※円単位)
18-2	スクリーン (IZUMI (AV) WOL-FX72V 46.500 円)	46.500
18-2	電子黒板機能付きプロジェクター	72.880

申請受付日

指導部で記入 →

/

【様式 3 - 1】

(所属(市費)コード 612302 )

大阪市立木津中学校 平成 29 年度 校長経営戦略支援予算【加算配付】配付申請書

年度目標	達成 状況
<p>【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</p> <p>全市共通目標（小・中学校）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 29 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を 95 パーセント以上にする。</li> <li>・平成 29 年度実施する校内生徒アンケートにおける「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目において「当てはまる（どちらかといえば当てはまる）」と答える生徒の割合を現状の 85 % 以上を維持する。</li> <li>・平成 29 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害生徒の数を、前年度同様になしとなるよう生活指導の充実に努める。</li> <li>・平成 29 年度末の校内調査において、新たに不登校となる生徒の割合を前年度より減少させる。</li> </ul> <p>学校園の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 29 年度の全国学力・学習状況調査における「朝食を食べていますか」の項目において、「食べている」と答える生徒の割合を、6 割に達するよう各家庭への呼びかけを実施する。</li> <li>・生徒のアンケートの結果において、「あいさつをきちんとしている」「正しい言葉づかいをするようにしている」の項目への肯定的な回答の割合を、平成 28 度の水準を維持する。</li> </ul> <p>【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標（小・中学校）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 29 年度中学校チャレンジテストにおける標準化得点（1 年 81.3 点 2 年 85.7 点）を前年度より向上させる。</li> <li>・平成 29 年度中学校チャレンジテストにおける正答率 4 割以下の生徒を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 2 ポイント減少させる。</li> <li>・平成 29 年度中学校チャレンジテストにおける正答率 6 割以上の生徒を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 2 ポイント増加させる。</li> <li>・平成 29 年度校内生徒アンケートにおける「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分自身の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に答える生徒の割合を、前年度より増加させる。</li> <li>・平成 29 年度全国体力・運動能力、運動習慣調査において、特に課題である長座体前屈の平均の記録を、前年度より 2 ポイント向上させる。</li> </ul> <p>学校園の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒や保護者アンケートの結果において、「相手の気持ちを考えた発言をするようにしている」や「友だちを大切にし、人への思いやりを持っている」の項目への肯</li> </ul>	

<p>定的な回答を平成28年度の水準を維持する。</p> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語指導が必要な生徒の学力の向上と基礎基本の定着に努め、外国にルーツを持つ生徒の進路を確実に確保する。</li> </ul>	
---	--

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【5、学校力UP支援事業】</p> <p>外国にルーツを持つ生徒が普段の授業で困らないよう、日本語指導や基礎基本的な学習能力の向上に努める。</p> <p>指標 ・海外のルーツを持つ生徒に対して、週1回以上の放課後学習や授業中の抜出指導などを行い、本人が希望する高校に進学ができるよう進路指導を含め、保護者の理解が得られるよう努める。</p>	
<p>取組内容②【2、道徳心・社会性の育成】</p> <p>・キャリア教育の充実として、1年生で地域の産業である皮革についての学習と、地域の太鼓店見学、2年生で職業講話、職場体験学習、3年生では、自らの進路について主体的に考える姿勢を育てられるよう、計画的に進路指導を行う。</p> <p>指標 ・進路学習実施後の生徒アンケートで、「有意義であった」「毎日の学習が大切だ」という肯定的な回答を75%以上にする。</p>	
<p>取組内容③【5、学校力UP支援事業】</p> <p>・少人数授業を基盤にTTや習熟度別少人数指導など個に応じた指導を充実させ基礎学力の定着に努める。</p> <p>指標 ・相互に授業を参観する機会を年に2回以上開き、共通理解や指導力の向上を図る。</p>	
<p>取組内容④【5、放課後を活用した学習機会の支援】</p> <p>補充学習、放課後学習会、中3集中学習会、夏季休業中の補習などを実施する。</p> <p>指標 ・補充学習を5教科中心に月2回実施する。 放課後学習会や夏季休業中の学習会への参加率を向上させるとともに中3集中学習会を充実させる。</p>	
28年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>・学力の向上に関しては、全国学力・学習状況調査からは国語・数学ともに全国平均を下回る結果となった。無回答率も全国平均より少し高い結果であった。生徒アンケートからは「授業にまじめに取り組んでいる」「授業がわかりやすく楽しい」の項目で、肯定的回答が昨年を上回った。習熟度別少人数授業や補充学習等を通して、基礎学力の定着をはかり今後もさらなる授業改善に努める。「予習・復習等家庭学習をしている」の項目は肯定的回答が昨年を下回り今後の課題である。</p> <p>・道徳心・社会性の育成に関しては、生徒・保護者アンケートで「あいさつ」「規範意識」に関する肯定的回答が昨年同様非常に高い。授業規律が確立した中で学校生活が送れている。「正しい言葉づかい」「時間を守る」でも肯定的回答が昨年以上であった。生徒の行事への参加意欲も高く達成感・成就感も高い。生徒の自主性を重んじ安心した学校生活が送れるよう今後も取り組みを継続する。</p>	

・健康体力の保持増進に関しては、生徒アンケートで「清掃への取り組み」「体や健康についての学習」に対する肯定的回答が昨年同様9割以上である。体育の授業や行事にも生徒は熱心に取り組む、体力の向上・増進に一定の成果が表れている。

#### 29年度への改善点

・少人数授業を実施することにより、非常に落ち着いた学習環境の中で生徒達はのびのびと学校生活を送っている。これらは本校独自の学校内のルールや規則を守ろうとする生徒の意識が高いとともに、日頃からきめ細かな指導が実施されているためである。今後は「安全安心ルール」の内容も吟味しながら本校の実態に合わせて取り入れる方法を考えていかなければならない。

・他校においては、「いじめ」「暴力行為」といった問題が発生しているが、教職員によるきめ細かな指導を行うことにより、事故や事件を早期発見・早期対応・早期解決することができている。

・生徒たちは毎年実施する生活アンケートにおいて、「授業は楽しい」「よくわかる」と答える割合が多いが、全国学力・学習状況調査においては大阪府・大阪市平均を下回っており、アンケート調査との開きがあることから学習能力が定着していないことがうかがえる。そのため今後は家庭学習や復習などに力を入れ、学力がしっかりと定着できるよう指導していきたい。

・本年度は特に外国にルーツを持つ生徒の学力について力を入れる。日本語の指導・基礎学力の定着など、放課後学習会・抜き出し指導などの個に応じた指導の充実に向けた取り組みを実施していく。最終的に生徒ひとり一人が持っている進路が実現できるよう成果をあげていく。

・道徳・社会性の育成については、生徒・保護者ともに肯定的な答えが多く、授業規律が確立した中で学校生活が送れている。しかし、まだまだ自分自身の考えや意見を発表する場が少なく、授業の中でアクティブラーニングを活用した取り組みを実施する必要がある。

・現在導入されている大型ディスプレイ・プロジェクターを活用したICT授業の導入を取り入れ実施している教科もあるが、今後ますます増加させていく必要がある。

・体力・運動能力調査においては毎年柔軟性が大阪府・大阪市の平均より大きく開きがあり、今まで体育授業で実施してきた補強運動の内容を見直し、柔軟性を高められるような取り組みを実施していく。

#### 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

#### 次年度（今後）への改善点

**◆加算配付申請内容に対応する項目を記載※運営に関する計画再掲**

※シートが1枚に収まらないときは、複数枚になってもさしつかえありません。

大阪市立木津中学校 平成 29 年度 校長経営戦略支援予算【加算配付】配付申請書

**学校申請額 3. 372. 906 円**

## ◆学校申請額費目別予算(※円単位)

8-1 報償金	11-1 消耗品費	11-4 印刷製本費	11-6 建物修繕料	12-1 通信運搬費	12-4 手数料	12-7 損害保険料
	342. 596		416. 510			

13 委託料	14-1 使用料	14-2 船車賃借料	18-2 校用器具費	18-3 図書購入費	合計
			2. 613. 800		3. 372. 906

## ◆取組内容・予算内訳

## 取組内容①【5、学校力UP支援事業】

外国にルーツを持つ生徒が普段の授業で困らないよう、日本語指導や基礎基本的な学習能力の向上に努める。

## 予算内訳

予算費目	予算内訳明細	申請額(※円単位)
18-2	パーテーション (E K パネル 1200×1800) 28. 700×5	143. 500
11-1	A4 まち付封筒 クラウン CR-HK2A410 10 枚入り 508×2	1. 016

## 取組内容③【5、学校力UP支援事業】

・少人数授業を基盤に TT や習熟度別少人数指導など個に応じた指導を充実させ基礎学力の定着に努める。

## 予算内訳

予算費目	予算内訳明細	申請額(※円単位)
18-2	フォールディングテーブル 242-449 27. 300×10	273. 000
18-2	折りたたみチェア 192-571 3. 390×30	101. 700

## 取組内容④【5、放課後を活用した学習機会の支援】

補充学習、放課後学習会、中3集中学習会、夏季休業中の補習などを実施する。

## 予算内訳

予算費目	予算内訳明細	申請額(※円単位)
11-1	遮光カーテンの更新	306. 180
11-6	カーペットの更新	335. 510
11-6	黒板をホワイトボードへの更新	81. 000
18-2	デスクトップPC 1 台×150. 000	150. 000
11-1	ゴムサンダル (テンダイ) 1. 180×30	35. 400
18-2	エアコン (ダイキン SZRH160BB 872800 円×2)	1. 945. 600

大阪市立木津中学校 平成 29 年度 校長経営戦略支援予算【加算配付】配付申請書  
(補足説明資料)

取り組み 1

外国にルーツを持つ子ども達に日本語能力を身に付させる。

～自分自身が願う進路の夢がかなうように～

【 現 状 】

本校に通う生徒のうち、外国にルーツを持つ生徒の割合は 20%を超えており非常に高い割合を占めている。特に中学生になって転入学してくる生徒にとって言葉の壁は非常に高いハードルとなっており、自分自身や保護者が願っている高校への進学が非常に厳しい状況となっている。

昨年、本校で公立高校受験時に提出した配慮申請の数は 6 件、13 パーセントの割合を占めている。そのため、これらの生徒達には特別な個別指導の体制を組み、日本語指導・基礎基本的な学習指導を丁寧に積み重ねていく必要がある。

【 目 標 】

1、対象と日本語教室の目標

対 象	目 標
児童生徒	日本で生きていくための日本語力を高める (学習内容の理解 → 進学等の目標達成につなげる) (日本語は友だちを獲得する手段でもある)
保護者	主に日常生活に必要な日本語を学習する 日本語学習の場を地域での居住場所の一つとする (保護者の精神的な安定が子どもの健全な発達に結びつく)
地域の大人	日常生活に必要な日本語を学習する、地域での居場所作り

【実施方法】

昨年度まで、本校においてスクールエンパワメント事業で指導していただいた支援員（中村浩三氏）とともに、渡日・来日した日本語指導が必要な生徒達のコミュニティ作りを目指す。

主に教科の学習を通じて、日本語力と学習内容の理解度の両方を高める。

授業中においては、授業への入り込み指導・別室抽出授業を行い基礎学力の定着と向上に努め、生徒が思い抱く進路の実現に向け個別指導等を進めていく。

本校には校舎と別棟の建物（陶芸教室）が在り、警備システム外の建物となっておりその教室を活用して生徒・保護者が気軽に集える場所として活用をする。

保護者、地域の大人に対して、日常生活に必要な日本語を学習する。

学校からの配布物を読む。日本の学校に対する理解を深める。

この取り組みにより外国にルーツを持つ生徒の保護者からも信頼を得ることにより、平成 30 年度より実施される浪速区内の学校選択制において、木津中学校へ進学を希望する生徒が少しでも増加するものと考えている。

## 会議室を整備された多目的室に

～生徒たちが輝ける場所の設置に向けて～

### 【 現 状 】

現在、生徒の発表の場として活用している会議室は使用頻度が非常に高く、会議室として作られて以来全く改善がされないまま現在に至っている。

現在、床にひかれているカーペットは擦り切れ・はがれが起こり、衛生的にも非常に悪い状況となっている。カーテンは強い直射日光を浴び、経年劣化により開閉時には縫い目や生地が引っ張る力で裂けていく状況となっていて、カーテンの役割を果たさない状況である。昨年度 I C T 事業により配置された大型テレビを活用して、今まで以上に様々な活動に使いやすい多目的室へと改修する。

特に、生徒達が調べ学習や自分自身の考えを発表する場所や、校区小中連携会議・浪速区中学校生徒会交流の場としてより広く活用していく。

#### ○ 環境整備

- ・ 経年劣化により、汚れ・はがれたカーペットの張り替とカーテンの更新。
- ・ ブラウン管テレビの釣りさげ式設置台の撤去。
- ・ 非常に暗い印象のある会議室を、I C T 事業により配備されたテレビを活用して、明るい多目的な部屋へと改装する

### 【 課 題 】

1. 主体的な学びの基本である調べる活動や話し合い活動が改善。

#### ○ 平成 27・28 年度全国学力・学習状況調査より

・「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか」への回答状況

	H27 年度		H28 年度	
	肯定的回答 (%)	否定的回答 (%)	肯定的回答 (%)	否定的回答 (%)
本校	31.8	68.2	34.9	65.1
大阪府	40.6	59.2	42.7	57.3
全国	58.0	41.6	57.9	42.1

相互授業参観や若手教員を中心とした授業力の向上を目指した取り組みにより、生徒の学習に取り組む姿勢は落ち着き良くなっており、チャイム着席率など非常に向上してきている。今後は教師からの指示待ちではなく、自分自身で課題を見つけ目標設定をして、どのように学習に取り組んでいくかという点にポイントを置いて指導を進めていきたい。

2. 自尊感情や達成感を養うため、生徒たちに発表の場を設ける。

#### ○平成 27・28 年度全国学力・学習状況調査より

・「1,2 年生の時に受けた授業では、自分の感ぐえを発表する機会が与えられていると思いますか。」への回答状況

	H27 年度		H28 年度	
	肯定的回答 (%)	否定的回答 (%)	肯定的回答 (%)	否定的回答 (%)
本校	86.3	13.7	83.7	16.3

大阪府	79.7	20.3	78.9	21.1
全国	86.0	14.0	84.2	15.8

本校では、生徒達に様々な行事の運営を実施させたり司会進行させるなど、人前で指示・連絡をすることをさせてきた、特に委員会活動などにおいては人前で伝達事項を反すことができています。しかし、自分自身の考えや発表するというものの回数は少ない。今後、自分自身の考えや意見を発表する場を増やすことにより、勇気や自身が身に付き自尊感情が芽生えより良いリーダーとして成長するものと考えています。

#### 【 取組み 】 ※下線部が加算配布分

##### 1. 放課後 日本語教室の実施。

- 日本語指導教室を実施することにより、来日して間もない生徒の日本語能力が向上する。
- 定期テスト、模擬テストなどにおける質問事項が理解でき、基礎基本的な学力の向上に繋がるとともに、自分自身が思い描く進路が実現できるようになる。
- 取り組みを進めることにより渡日来日の生徒・保護者のコミュニティーの場が出来上がり、平成 30 年度より浪速区でも実施される学校選択制において木津中学校への選択希望者の増加を目指す。

##### 2. 会議室を改修することにより、テレビやパソコンなどを活用した発表に場へと整備することで充実した発表場所を提供する。

- 様々な行事を実施しており、生徒会や委員会にかかわる生徒だけでなく、より多くの生徒に自分の考えや経験したことの発表の場を設ける。
- I C T事業で配備された大型テレビの充実した活用につなげる。
- 聞くだけでなく視覚から伝わる情報により集中した発表の場とする。

##### 3. P Cを活用した図書の貸し出しの開始。(平成26年度より実施)

- 生徒一人一人に新たな図書カードを配布し、P Cの活用を開始する。
- これを機会に、図書館の利用者数（貸し出し数）の増加を図る。

##### 4. 生徒にとって本を身近な存在にする。(平成26年度より実施)

- 昼休みの開館時間だけでなく、おすすめ本や新着図書をブックワゴンなどを活用して、教室や廊下に配置し、朝読書等への活用など手軽に本を読めるようにする。

#### 【 期待できる成果 】

1. 生徒の発表の場づくり。
2. 生徒ひとり一人に自尊感情の構築と達成感を味あわせる。
3. 調べる活動や話し合い活動の活性化。
4. 集中力の向上と持続。
5. 渡日・来日生徒の日本語能力の向上と基礎基本的な学力の向上。
6. 渡日・来日生徒の希望する進路の保証